

日本ライティング株式会社 LED ヘッドライト (車用) 工場見学

旅程(スケジュール) :

令和5月22日(水) 12:50 阪神電車尼崎電車尼崎駅集合、

1. 13:00-15:00 日本ライティング株式会社工場見学

11:51 垂水駅発、尼崎行各停に乗車、12:43 JR

日本ライティング株式会社訪問の経緯は :

NHK 朝の番組、月イチコーナーで美人の牛田キャスターと気象予報士の塩見さんが展開する

「おはよう関西」、竹原編集長が企画する「元気な関西の中小企業」「車のヘッドライトを主力商品にする元気な尼崎の日本ライティング工業」の紹介でした。

早速に「見楽の会世話人の古宮さんに紹介すると、近くの尼崎城見学も兼ねて、応募トライ」となり、幸運にも一発当選でした。ラッキーとばかりに垂水マスターズクラブ「見楽の会」応募者15名での訪問となりました。

2. 15:30 - 16:00 尼崎城 (平成30年 3月竣工) 内部見学

活気ある関西尼崎の中小企業「日本ライティング工業(株)」の見学の帰りに、尼崎駅南側寺町沿いに再建された尼崎城の見学に向いました。

情の町、尼崎に尼崎城が再建されてとの触れ込みから訪れて見ました。尼崎城は明治維新とともに取り壊されたそうですが、現在では再建され平成31年3月29日に一般公開されました。

そうなのです尼崎は昔も今も城下町なのです。人情いっぱいの「情あふれる街」なのです。

お城の再建話は何度も起こり、そして立ち消え、そんな中「創業の町に恩返しをしないと、この町で生まれた家電量販店の操業者が立ち上がり、10億円を超える私財を投じて尼崎城天守の再建が実現されたとのことです。」

15:30 - 16:00 尼崎城 (平成30年 3月竣工) 内部見学

3. 16:00 - 17:00 尼崎駅南側寺町散策

4. 16:00 - 17:00 尼崎駅南側寺町散策

日本ライティング(株)は、なにかと負のイメージのある兵庫県尼崎市に位置する会社です。一方では地元の人たちに「尼」の愛称で親しまれている最寄りの駅「阪神尼崎」を訪れてみました。前評判とは異なり、駅前広場には噴水や総合案内所などが存在し、とても明るく綺麗な駅舎でした。今回はそんな尼崎周辺の工場見学と尼崎城の散策に総勢 15 名で訪れてみました。

阪神尼崎駅前：



日本ライティング(株)全景：



日本ライティング(株)のエントランス：





日本ライティング社のエントランスで！

「事前に貴工場見学を予約しておりました
垂水マスターズ（見楽の会）です。

と本日の工場見学目的に訪問した旨を伝え、
受付女性に見学者全員会社内へ案内して
頂きました。」

会社ビルに入るとまずは 15 名全員 3F の会議室
に案内され、冷たいお茶のサービス、そして当社
大田社長自ら歓迎の辞と会社概要の紹介。
当社では自動車用電球の着色コーティング
（蒸着加工）から発展、市販車に LED ヘッド
ランプが採用されたのを契機に、LED ヘッドラ
イトの設計・開発・製造に注力、現在に至ってい
るとの紹介でした。そして、主力商品は LED ヘ
ッドライトですが、製品は国内生産にこだわり
を持ち、この尼崎工場での一貫生産を続けてい
る会社です。また、従来のハロゲンや HID ラン
プの需要もまだ存続しており、これらの自動車
用ランプの設計・製造・販売も同様に国内製造を
継続していますとの説明でした。



この後、2 班（8 名、7 名）に分けての工場内 LED ランプの
製造工程や数々の製品検査工程などの見学となりました。



LED ヘッドランプバルブの完成写真：LED
ヘッドライトは意外にも熱を発生させるの
で、本体は放熱効率の高いアルミ材 A-6063
を採用しているとの説明でした。



1FにあるLEDランプ本体バルブの製造マシニングセンターに案内していただきました。製品は国内生産へのこだわりから、LEDランプバルブ本体の制作には寸分の違いも無く加工できるNCマシンは欠かせません。従って、1F工場内はバルブ本体加工用のNCマシンが並ぶマシニングセンター。ここでLEDバルブ製品のアルミ原料が休みなく自動加工されていました。



NC マシニングセンターの見学です 1台のマシン内部のアルミ原料のプログラミング加工状況を見学させていただきました。

皆さん興味深々、NC マシンの全面扉が開けられると一斉に見入っていました。

切削屑、油の飛散などは気にならない様子です！！



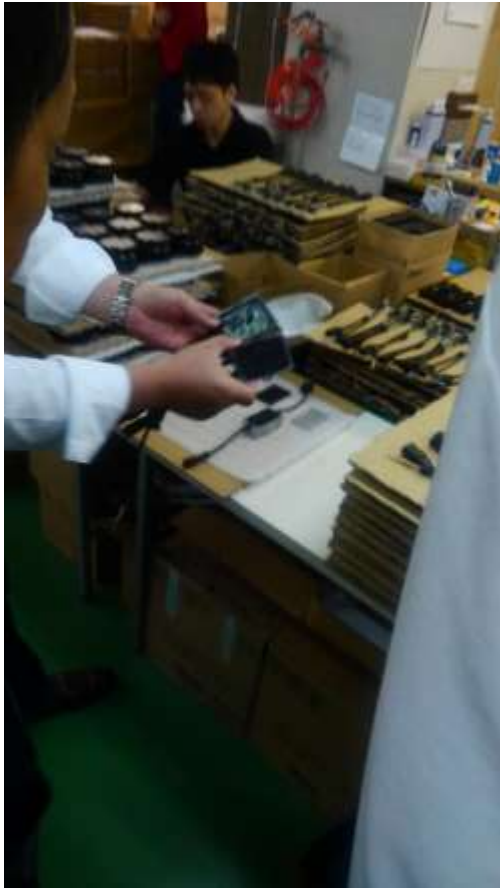
LED ヘッドランプのシャフト、口金部分は寸分の狂いもない画一的な製品・精度が求められますので一品一品丁寧にマシニング仕上げされている様子が見学できました。



マシニング加工された LED ランプバルブはここで一旦寸法等検査されて、合格品のみ、組み立てラインへ戻されます。つまりこのように一品一品人間の手を煩わせる検査が当社の欠品を産み出さない均一な製品の作りへのこだわりと強みとなっておりますとの説明でした。

ランプバルブ本体の寸法検査に合格した製品は、次の組立工程に移り、熟練の工員さんの手で、LED ランプや配線・冷却ファン等の主要付属品が装備されて LED ランプバルブ本体に仕上げられてゆきます。





LEDランプのコントローラーは専用のジョイントボックスに組み込まれます。



LED ランプ部品と並行して、各パーツを繋ぐ配線およびコントローラー等が組み込まれ、専用のジョイントボックスとケーブルで結線された後に、特殊エポキシ樹脂でモールドディング加工が施されます（防水仕様には欠かせない工程です）。



完成した LED ランプバルブは、数時間に及ぶ連続の点灯試験が実施され、LED ランプバルブ本体は試験中赤外線カメラによるランプバルブの温度検査ならびに冷却ファンの効果等も製品全数、同時に確認されます。点灯試験合格後には、耐水性能と過酷な振動試験を経て、完成製品として出荷されそうです。



自動車用 LED ランプの製造工場の見学を終えて、全員会議室に戻り、質疑応答の時間を設けて頂きました。

皆さんからは盛んに様々な質問がありましたが、最後に大田社長から、今後当社は従来の自動車会社への商品販売のみならず、インターネットを活用して、各地に点在する修理工場や町工場、更には直接個人販売等、積極的に販売促進を実行したいとの考えを強調されていました。



会社訪問の最後に、日本ライティング工業（株）2F エントランスで記念写真を撮影させていただきました。本日は大田社長殿並びに当社従業員の殿には大変お世話になり、ありがとうございました。



日本ライティング（株）の見学を終えて、「尼崎も明るい未来のある町になった。」と会社エントランスで前田さんの感想でした！さあ、皆さん南に向いて寺町沿いの「尼崎城」まで歩くでー！！



尼崎城の見学：

阪神尼崎は一般的には公害の町、治安が悪い町として知られていました。

そもそも城下町として発展してきた尼崎に、城が再建されたと聞いて訪れてみました。

尼崎はもともと城下町だったようですが、以前のお城は明治維新と共に取り壊され、都市化が進む中で、城下町はまったく姿を変えてしまったようです。もともと城下町であった尼崎に、この尼崎で生まれた家電量販店の創業者が「恩返しをしたい」の思いから、10億円を超える私財が投じられると、尼崎を愛する市民や仲間も共鳴し、尼崎城天守の建築に着手したそうです。そして、平成31年3月29日に悲願の城が再建され、城下町としても再建されたとのことでした。



尼崎城は大阪城の西の守りとして、当時の尼崎藩主であった戸田宇氏鉄（とだ うじかね）の手で築城されたとされており、その顕彰碑が尼崎城入口に建てられていました。

また、尼崎城は尼崎の町中に再建されていましたが、天守閣を見下ろすような近代的なマンション群の中にお城はありました。更に、尼崎の新しい観光スポットを意識してか？お城前にはサッカー場をイメージさせる人口芝の広場が広がっていました。今日5月22日のような青空が広がる休日は尼崎の新しい憩いスポットとして市民に愛されるのではないのでしょうか。



今回の見楽の会はこの尼崎城見学で終了解散となります。

参加の皆さん本日1日お疲れ様でした。くれぐれも事故の無い様気をつけてお帰り下さい。